

講座名「東京 2020 おせっかい英会話」

講座のねらい

- ・困っている外国人に積極的に英語で声掛けできるように。国際人を目指す。
- ・2020 年東京オリンピック・パラリンピックへの関心を高める。

第1回（5月14日） 第2回（5月28日） 第3回（6月11日） 第4回（6月25日）

講師：高田 玲子 氏



参加者の声

- ・聞くだけの講座ではなく参加型で楽しかった。
- ・CDを使ったヒアリングが良かった。
- ・具体的なアドバイスがあり勉強になった。無理なく英会話に入り込めて良かった。
- ・かなり実践的で分かり易く英会話のコツを学べた。
- ・初心者向けに2,3個の単語で通じる会話などを教わりたかった。
- ・語学講座にまた参加したい。

成果と課題

開催まで1年となり気運も高まって来た東京 2020。市民の関心が高まってきたこの時期に英会話講座を考えたのはタイムリーだった。今回の講座の応募数も倍率 2.3 倍となった。語学講座は男性も参加しやすいためか、男性の応募者数が女性の半数近かった事は企画として良かったと思う。来年は東京オリンピック開催の年。応募者も多く男性の割合も高かったが、タイトルの「おせっかい」という文言が気楽に参加できる雰囲気を作り出していたのかもしれない。

講座は信篤公民館近隣に在住であり当館の英会話サークル講師も務められ、英語講師経験も豊富な講師にお願いした。今回は講師からの一方通行の講義ではなくグループワークやグループ劇の発表を加えるなどユニークな手法を取り入れ、参加者にも好評だった。

1 回目は自己紹介、話しかけるきっかけ・困っている人への声掛けの例文を、2 回目は英会話上達のコツや日本伝統の折り紙を介して外国人と仲良くなるワザを、3 回目は機器を使ってヒアリング練習、道案内などの英語例文を学んだ。4 回目は総まとめとして、英語人とおせっかい人との役割を決めた道案内の劇を 4 人グループごとに発表し、講師が講評するという講座だった。講義を聞くだけでなく自分たちの作ったシナリオで劇を発表するというグループワークでの講義は、受講者の英語レベルも同程度であったためか和やかな雰囲気の中、意欲的に取り組まれていた。充実した講座となったと思う。